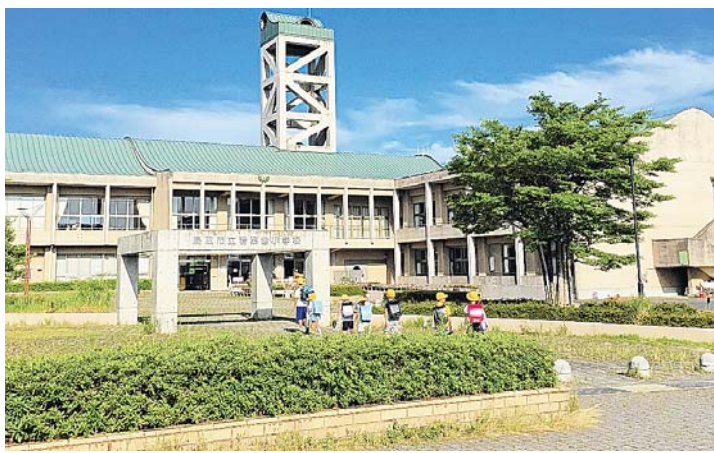


【学校名】 鳥取市立若葉台小学校
 【所在地】 鳥取市若葉台南2丁目17-1
 【校長名】 西田 規子
 【児童数】 186人



わかばだい 若葉台小

【沿革】
平成9年

津ノ井小学校の分離新設校として、津ノ井ニュータウン整備事業に伴い開校。児童数291人でスタート

16年 南校舎完成
 17年 22学級、児童数は567人となる
 20年 校庭に芝生が植ええられる
 28年 創立20周年を迎える
 令和元年6月 学校カフェ「カリヨン」開設

【学校教育目標】

若葉のようにきらめいて やさしく(徳) 豊かに(知) たくましく(体) ~幸せな未来の創り手となる、徳・知・体のバランスの取れた子どもを育成する~

【めざす学校像】

- ・子どもにとって毎日行きたくなる学校
- ・保護者にとって通わせたい学校
- ・地域にとって応援したくなる学校
- ・教職員にとって働きたくなる学校
- ・来校者にとってまた来たい学校…そして、ずっと居たい学校

【めざす子ども像】

若葉台っ子の3C
 Communication…人とのふれあいを大切にする子ども
 Creation…よく考え豊かに創造する子ども
 Challenge…たくましく挑戦する子ども



元気よく「おはよう」

あいさつ運動、仮装イベントも

若葉台小では、毎朝登校してきた人にあいさつをする、「あいさつ運動」を行っている。あいさつ運動の魅力は、学校や地域が明るくなるということだ。朝から、たくさんの子どもの「おはようございます」の声が聞こえ、みんなの気持ちも明るくなる。

さらに、あいさつ運動が盛り上がるイベントも行っている。2024年10月31日には、ハロウィーンあいさつDAY

を行った。子どもと先生、地域の方が魔女やフランケンシュタインなどに仮装し、大いに盛り上がった。

また、同年12月24日には、クリスマスあいさつDAYを行った。サンタやトナカイの仮装をし、あいさつ運動を楽しんだ。このようなあいさつ運動のイベントには、地域の方々も仮装して参加して下さる。学校と地域が交流できる良い機会となっている。

私たちのあいさつはもっとよくなると思う。さらに、あいさつ運動を盛り上げ、元気のよいあいさつができる若葉台小にしていきたい。

若葉台小では、毎年全校児童が赤、青、黄、緑の4色の縦割り班に分かれてフレンズ活動を行っている。フレンズ遊び、フレンズつうじ、花いっぱい運動などの活動をフレンズ班に分かれて行うことで異学年の仲を深めている。

遊びやそうじ、花植え… フレンズと一緒に

フレンズ遊びは、6年生が中心となり、遊びの計画や司会進行を行い、校舎内や校庭、体育館など



学年の違う友達や地域の方と協力して花を植えた、花いっぱい運動

ど、学校中がみんなの楽しい声であふれ返っている。フレンズつうじは、毎週木曜に行われる。フレンズ班ごとに分かれて、校舎内を協力して掃除し、高学年の掃除をする姿から下学年が掃除の仕方を学ぶことができる。

花いっぱい運動は、年に2回行われている。地域や保護者の方と一緒に季節に合わせた花をプランターに植える。花が植えられたプランターは地域に配られ、若葉台が花でにぎわう。



学習発表会の最後を締めくくった6年生の発表

午後には、「愛育会フェスティバル」が行われた。愛育会や地域の方々、会社、近くの学校による、炊き出しやドローン体験のコーナーや演奏会もあり、「いろいろな体験ができるのでうれしい」と地域の方や保護者の方々ともふれ合いながら、とても楽しい時間を過ごすごうであった。

発表は成功し、保護者や地域の方に、学習の成果を伝えることができた。

「わかれば」に、若葉台小体育館で学習発表会が行われた。1年生「十二ひきのねこの大ぼうけん」、2年生「わくわくがいつぱい若葉台くわしたのものがたり」、3年生「みんながたり」、4年生「みんながたり」を発表し、練習に取り組んで来た成果を発表した。

練習の成果発揮

学習発表会

校内に響く歌声

全校音楽

毎月第4火曜日の朝に全校音楽を行っている。決められた時間に音楽が鳴り出し、その音楽に合わせて全校児童が中庭を向いて廊下



中庭に向かって歌声を響かせる全校音楽

やベランダ、テラスに並ぶ。そしてお互いの顔を見ながら「今月の歌」を歌う。

この活動は今では若葉台小の伝統になっている。1・2年生の元気な声、3・4年生の落ち着いた声、5・6年生のきれいな声が校内に響き渡り、お互いの声を聞きながら歌うことを楽しんでいる。

毎月歌う歌は変わり、中には二部合唱になっているものもある。それは、2018年度から二部合唱になった若葉台小学校校歌だ。1～4年生が上パートを、5・6年生が下パートを担当している。歌い終わった後には、全学年がお別れのあいさつとしてお互いに手を振りながら楽しそうに教室へ戻っていく。

全校音楽は1カ月に1回、全校児童の歌声を聴いたり、顔を合わせたりすることのできる大切な機会だと思っている。これからも若葉台小の伝統として全校の歌声を校舎に響かせ、歌を楽しんでいきたい。

全校あそびで 笑顔あふれる

かくれんぼ、ケイドロ

2024年6月27日に、第1回全校あそびとして全校かくれんぼを行った。このイベントは、運営委員会が中心となって開催された。6年生16人が校舎内に隠れ、全校児童が探すというものだ。隠れる人の写真がモニターに映された後、みんな違う学年の友達とペアを組んで6年生を探した。



子どもたちの笑顔があふれた全校あそび

見付かった人は放送室で「〇〇さん見付かりました」と全校に伝えられ、10分ほどで隠れた6年生全員が見付かってしまった。1人も見付かれず悔しがっていた人や見付けてうれしそうな人がいるなど、大盛況で終わった。25年1月20日には第2回全校あそびが開催され、全校ケイドロを行った。各学年から8人ずつ警察役を決め、20分間楽しんだ。15分後には先生たちが警察役に加わり、残りの5分間は先生たちも一緒に校庭を走り回り、みんなが笑顔で校庭を走り回り、「楽しかったので、またやりたいです」との声があふれる大満足のひとときとなった。



桜咲タイムを通して、友達との仲を深める

しみにしている人がたくさんいて、活動後の振り返りでは満足感が伝わる言葉が聞こえてくる。本年度で8年目となる桜咲タイムを通して、私たちは大切な力を身に付けている。友達と関わりながら成長できる時間なので、これからも続いてほしい。

コミュカ 身に付けよう

「桜咲タイム」で対話

若葉台小では毎週木曜日の朝に桜咲タイムに取り組んでいる。これは、桜ヶ丘中校区の小・中学校で行っている活動であり、「好きな食べ物」や「行ってみたい場所」など、決められた質問について友達と意見交換をする。

桜咲タイムは、「より良い人間関係を作る方法を学ぶ」「話す時、聴く時の態度を身につける」「身につけた力を授業のグループ活動に活かす」の三つのねらいのもと行っており、友達同士の対話を大切にしている。若葉台小では、全学年が桜咲タイムに取り組み、コミュニケーションの力を付けている。

桜咲タイムは、友達と関わることで大切な時間だ。質問によって、友達の新しい一面を知ることができる。毎週この時間を楽

6年生が作った新聞です